

F Mくしろ「市役所からこんにちは」資料（平成31年1月放送分）

放送日 平成31年1月28日（月曜日）午前10時5分～10時20分

（話題1）

パラリンピック・パワーリフティングの日本・ベトナム合同合宿について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

今日は、蝦名市長にお越しいただいてお話しいただきます。

それでは、市長、どのようなお話でしょうか？

【回答：市長】

今日のタイムリーな話題として、今まさにベトナムのパラリンピックのパワーリフティングの選手が釧路で合宿を行っております。

2017年7月7日にベトナムを相手国とする「2020東京オリンピック・パラリンピック」のホストタウンに登録されてから、ベトナムのオリンピックやパラリンピックの合宿を誘致するため、様々な取り組みを進めてまいりました。

今回、その成果のひとつとして、初めてベトナムのパラ・パワーリフティング選手4名と道内在住の日本代表候補選手を招いて、釧路での合同合宿が実現しました。

合宿は昨日と今日で、2016年のリオデジャネイロ・パラリンピック女子50kg級銅メダリストであるダン・ティ・リン・フォン選手も参加しており、昨日は選手によるデモンストレーションや、子どもたちとの交流が行われ、大いに盛り上がっていたとのこと。

今日の合宿は、鳥取南7丁目にある、サン・アビリティーズくしろの研修室で、午後1時から4時まで行っております。すべて公開しており、観覧自由となっておりますので、ぜひ皆さん、トップレベルの選手の練習をご覧いただき、オリパラを身近に感じていただきたいと思います。

今後は、「2020東京オリンピック・パラリンピック」までの間に、パラ・パワーリフティングをはじめ、陸上や水泳の選手も招いて、数回の合宿が予定されています。

【問合先】 スポーツ課 TEL：0154-31-2600

（話題2）第74回国民体育大会冬季大会の開催について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

続きまして、皆さんにお知らせしたいことはございますか？

【回答：市長】

全国から氷上のトップアスリートたちが集う第74回国民体育大会冬季大会「イランカラプテくしろさっぽろ国体」スケート競技会・アイスホッケー競技会が、いよいよ明後日、1月30日（水曜日）から2月3日（日曜日）までの5日間の日程で、ここ釧路市で開催されます。

釧路市での冬季国体は、平成22年以来9年ぶり、4度目の開催となります。

先日、出場申込が終了し、選手、監督1,428名のほか、関係者を合わせると3,011名となり、当初から想定しておりましたとおりの3,000名規模の参加者数ということになっております。

注目選手は、フィギュアスケート競技 成年男子に北海道代表として出場される釧路市出身で現在、関西大学に在学中の中村 優（なかむら しゅう）選手です。

開始式において出場選手を代表し、選手代表宣誓者を務めることとなっている中村選手は、先日行われた日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）で個人優勝を果たされたほか、3月にロシアで開催の「学生のオリンピック」とも呼ばれる「ユニバーシアード冬季競技大会」の日本代表に選出された実力のある選手です。

是非、競技会場で中村選手の地元凱旋をご覧いただきたいと思います。

もちろん、中村選手以外にも多くのトップアスリートが出場されます。競技の観戦は全て無料となっておりますので、是非、多くの市民の皆さんに会場に足を運んでいただき、熱い声援を送っていただくとともに、「イランカラプテ」を合言葉に、全国からお越しになる選手、関係者の皆さんをおもてなしの心でお迎えしていただきたいと考えております。

【問合先】第74回国民体育大会冬季大会北海道実行委員会スケート競技会・アイスホッケー競技会事務局（国体推進室内）

TEL：0154-65-1584 FAX：0154-65-1743

（話題3）釧路市中央図書館及び釧路文学館開設一周年について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

続きまして、皆さんにお知らせしたいことはございますか？

【回答：市長】

昨年、2月3日に北大通へ移転・開館いたしました中央図書館につきましてです。

この新しい中央図書館は、開館から昨年12月末までの利用者数は約17万6,000人、資料の貸出冊数は約32万8,000冊となっております。

設備が異なります旧図書館との単純比較はできませんが、昨年の同時期と比べて、利用者数につきましては3.9倍、貸出冊数につきましては1.9倍の増となっております。

特に7階の学習室につきましては、中高生を中心に、延べ約7万3,000人の利用、旧図書館との比較では1.4倍の増となっております。

また、今年度から学校図書館連携支援員を2名配置し、学校ブックフェスティバルの充実や読書活動サポートセットの活用など、「学校図書館の支援」や「子どもの読書活動推進」に関する事業を行っております。

6階に併設しております釧路文学館につきましては、開館からの入場者が延べ約1万4,000人となっており、常設展示のほかに、これまで4回の企画展示を行い、釧路ゆかりの作家の紹介をはじめ、文学により深く親しみ、興味をもっていただけるよう、情報発信に努めております。

今月の26日（土曜日）から4月21日（日曜日）の期間、中央図書館と釧路文学館の開設一周年を記念いたしまして、釧路市出身の直木賞作家、桜木紫乃さんの作品を取り上げ、

「^ひ ^{かわ} 緋の河 ^{えが} 桜木紫乃が描く釧路」と題し、現在、北海道新聞で連載されている「^ひ ^{かわ} 緋の河」で描かれている背景を紹介する展示を開催しています。

あわせて、釧路を描いた作品、映画化やドラマ化された作品の関連資料の展示も行っております。

また、関連事業といたしまして、桜木さんの魅力を語るリレートークや、「桜木紫乃にとっての直木賞」と題し、「直木賞受賞が桜木さんにどのような影響を与えたか」に焦点を当てたシンポジウムも開催いたします。

今後とも多くの利用者に親しまれ、様々な場面で活用される図書館を目指し、利用者ニーズに沿った図書館サービスを提供して参りたいと考えております。

【エフエムくしろ パーソナリティー】

ありがとうございます。

ただいまご紹介のありました、桜木さんの魅力を語るリレートークは、2月10日（日曜日）、2月16日（土曜日）、2月24日（日曜日）の3回行われ、2月24日は弊社の大津桃子が出演します。

また、「直木賞受賞が桜木さんにどのような影響を与えたか」に焦点を当てたシンポジウムは、3月3日（日曜日）に行います。

詳細については、生涯学習課、電話番号0154-31-4579にお問い合わせ下さい。

今後のイベントについて

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

今後、どのようなイベントが予定されていますか？

（くしろ冬まつり2019）イベント①

【回答：市長】

冬の恒例イベントである「くしろ冬まつり2019」が、2月2日（土曜日）・3日（日曜日）の2日間、観光国際交流センター前庭をメイン会場として開催されます。

2日（土曜日）には、北海道新聞社主催の花火大会「道新^{はなび}華火ファンタジア」や、^{かんぼう}「寒風カラオケのど自慢大会」、3日（日曜日）には、釧路新聞社主催の「宝くじ付きもちまき大会」や、「大ビンゴ大会」などが開催されるとともに、秋辺デボさんによるスペシャルライブも予定されております。

この他にも、会場内ではザンギや釧路ラーメンなどの釧路らしいグルメも出店しており、今年は、「イランカラプテくしろさっぽろ国体」で来釧される皆さんにも楽しんでいただきたいと思います。

【問合先】 FMくしろ内 くしろ冬まつり会 TEL0154-47-0808

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

冬といえば、もうひとつ恒例のイベントがありますね。

(阿寒湖氷上フェスティバル ICE・愛す・阿寒「冬華美」)イベント②

【回答：市長】

2月1日(金曜日)から3月3日(日曜日)までの、午後7時30分から、「阿寒湖氷上フェスティバル ^{アイス}ICE・愛す・阿寒 ^{ふゆはなび}『冬華火』」が開催されます。

文字で表すと、氷のアイスと、ラブの愛すとなります。

「あたたかい甘酒や牛乳」「わかさぎの天ぷら」を味わったり、氷切り体験(ブロック状の氷を凍結湖上にてノコギリで切る体験)が出来るほか、冬の夜空を飾る圧巻の花火が3月17日までの毎日、午後8時10分から打ち上げられます。

また、2月14日(木曜日)には、毎年来ていただいております、沖縄の琉球放送で活躍されている芦別市出身のパーソナリティー「柳 ^{やなぎ} ^{たく}卓」さんと、沖縄ツーリスト主催の「白い北海道」ツアーの皆さん約350名を阿寒湖温泉でお迎えし、このイベントを楽しんでいただきます。

そして、「沖縄デー」と称して、このイベントを沖縄の方へ紹介するラジオの生放送が行われる予定であり、私も出演させていただく予定です。

【エフエムくしろ パーソナリティー】

ありがとうございました。

ただいまご紹介のありました「^{アイス}ICE・愛す・阿寒 ^{ふゆはなび}『冬華火』」については、天候状況によって、中止や内容の変更の可能性がありますので、詳細につきましては、事務局の「阿寒観光協会 まちづくり推進機構」へお問い合わせください。

電話番号は、 0154-67-3200 です。